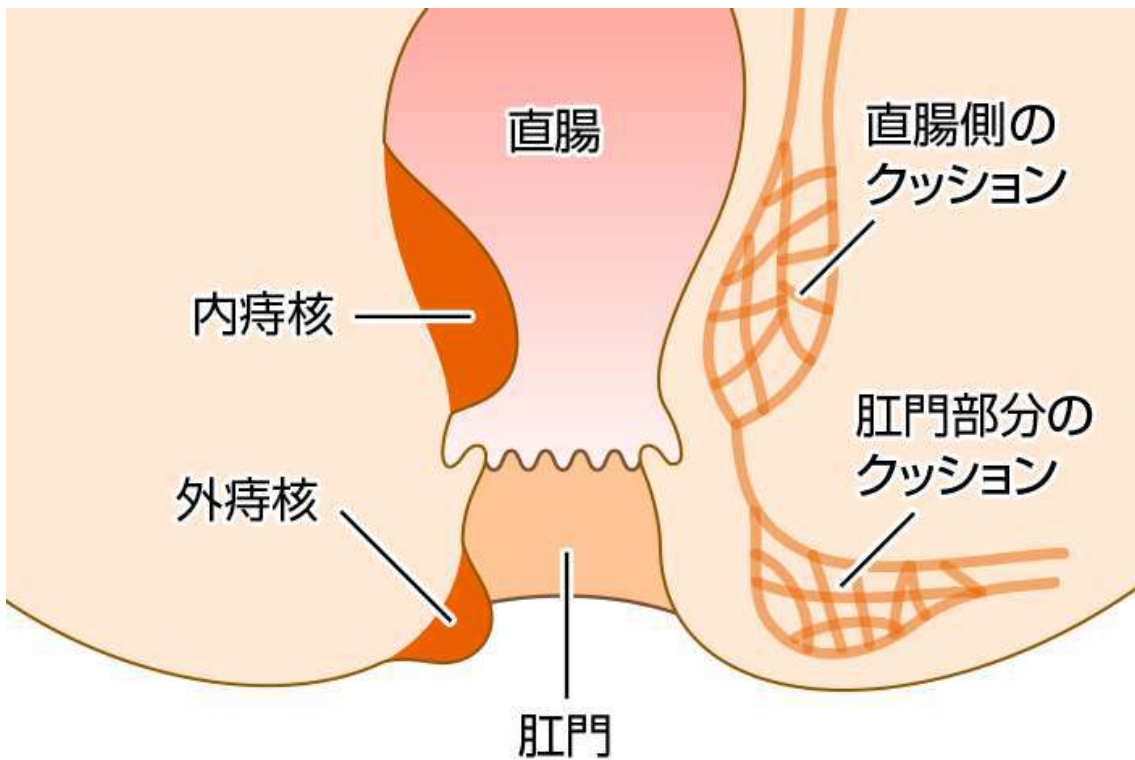


## 内痔核治療:日帰り治療 静脈麻酔下 ALTA(ジオン)

### 痔核とは

痔のなかでもっとも多く、男女とも**患者の半分以上**を占めます。痔核には、直腸側のクッションが大きくなった内核痔と、肛門部分のクッションが大きくなった外痔核があります。普通、痔核というと**内痔核**を指します。



### 原因

いきみの繰り返し、便秘、硬い便、激しい下痢、重い物を持ったときなどに**肛門に負担がかかり**、クッション部分を土台に固定している部分が伸びたりちぎれたりして、結果としてクッション部分が大きくなるために起こります。痔核が大きくなると肛門から脱出するようになります。

## 症状

排便したときに血が出る、便が残っている感じがする、肛門から痔核が外へ出るなど。

## 分類

内痔核は、脱出の程度により I~IV 度に分類されます。また、急性期の激しい痛みを伴う痔核としては、「血栓性外核痔」と「嵌頓（かんとん）痔核」があります。

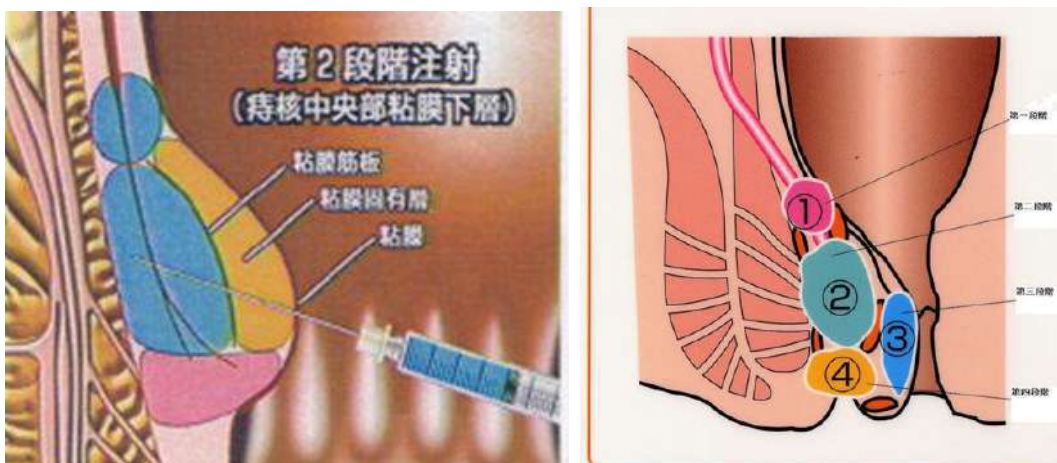
### **\*\*痔核（いぼ痔）の分類はこちら**

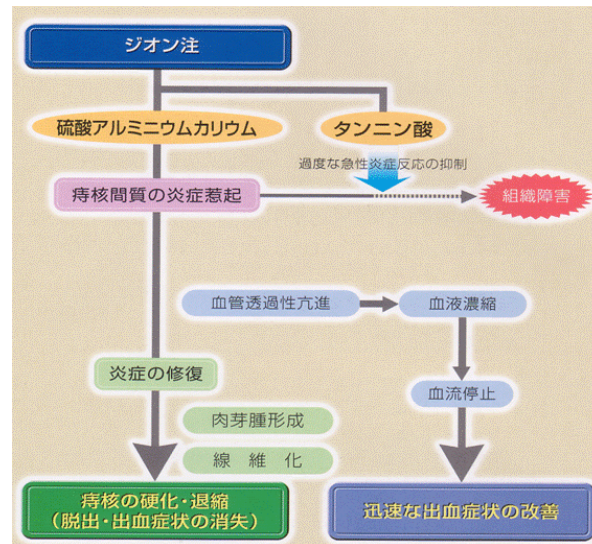
出血が頻回の 2 度以上は ALTA（ジオン）単独または併用療法の適応となります。

### **4 段階注射法（ALTA、ジオン療法）**

---

図のように痔核上方 痔核 痔核下縁に 4 段階で注入する方法  
手術に比べ痔核の再発率がやや高いが大幅に痛みが少ない治療法  
繰り返し注射可能で再発患者さんにも安全に施行可能





## 作用機序

### どのようにして効くのか

ジオンの成分である硫酸アルミニウムカリウムは強い炎症を起こします。これを痔に注入して痔組織に強い炎症を起こし“カンパチ”にして出血や脱出をなくす治療です。またもう一つの主成分のタンニン酸は炎症の調整役として働いています。

これまで約 1000 人に四段階注射療法を施行して重篤な偶発症はありません。ALTA（ジオン）の麻酔は

1. 潤滑剤などの表面麻酔のみ
2. 肛門周囲に局所麻酔を刺入する局所麻酔
3. 硬膜外麻酔
4. 腰椎麻酔
5. 全身麻酔
6. **静脈麻酔+局所麻酔**

などが行われていますがそれぞれ問題点もあります。

当院では上記 1-6 の方法いずれも可能ですが、痛みが少なく**日帰り可能な 6.静脈麻酔+局所麻酔**を多く施行しております。

\* ALTA ジオンの注射療法の適応は**内痔核**のみですので外痔核には適応になりません。外痔に関しましては**外科的治療**が必要になります。

一般の方には内痔核と外痔核の区別は難しく一度当院を受診していただくことが必要です。